

解説編

「予算会計」演習問題 2

予算編成方針：売掛金実績予想

宝印刷グループ
株式会社スリー・シー・コンサルティング
代表取締役 児玉 厚（公認会計士）

2018年4月10日

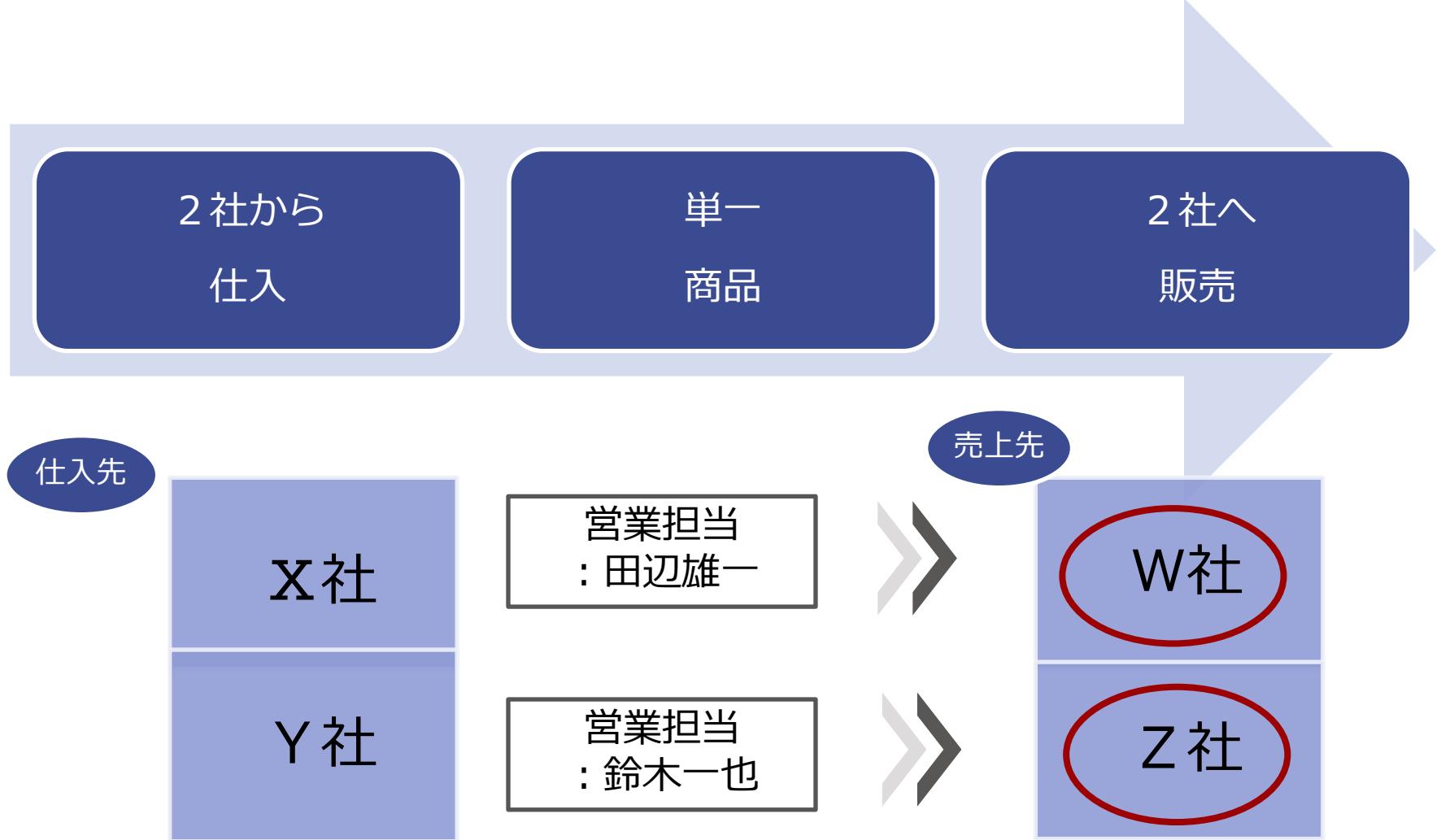
「予算会計」とは

「予算財務諸表」を作成する理論をいう。

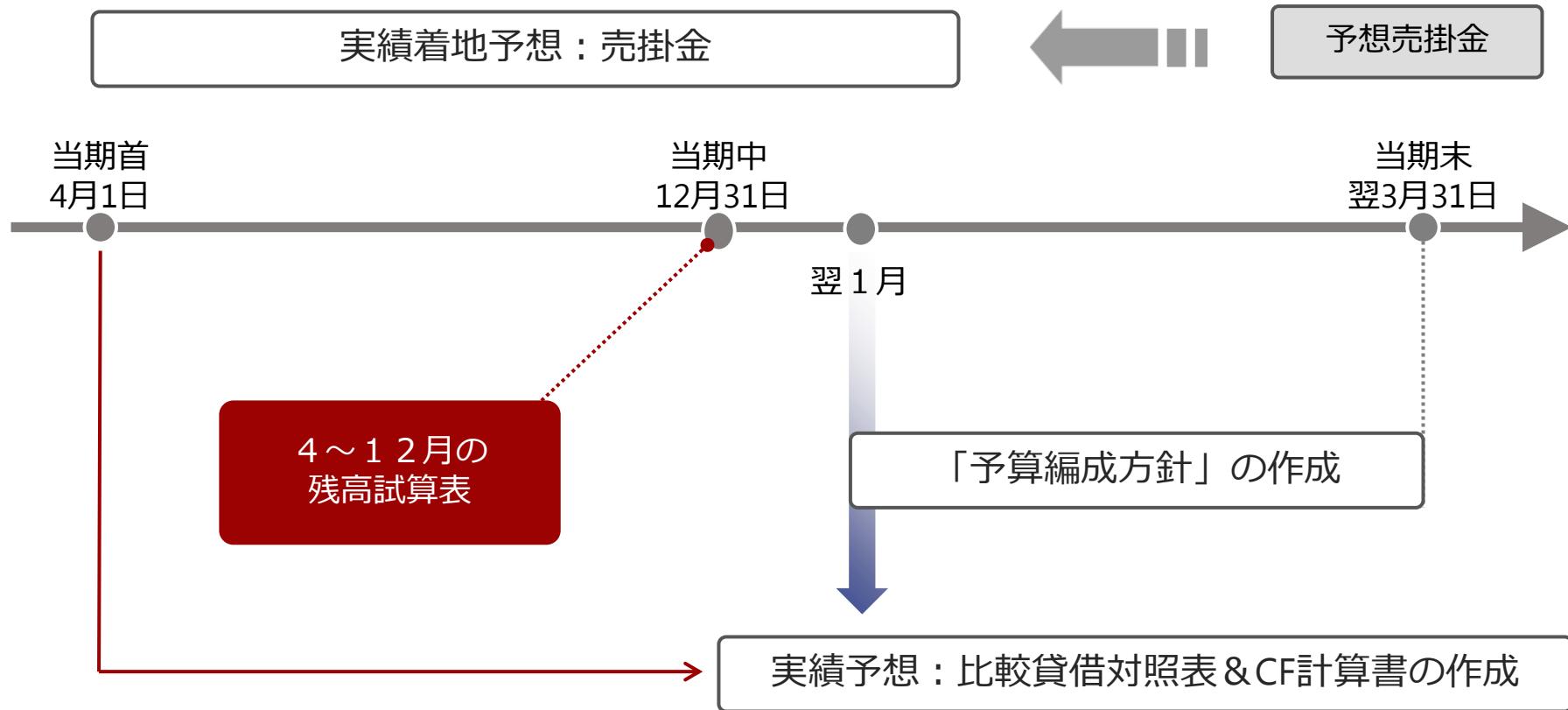
予算財務諸表

- ① 「予算損益計算書」
- ② 「予算貸借対照表」
- ③ 「予算株主資本等変動計算書」
- ④ 「予算キャッシュ・フロー計算書」
- ⑤ 「月次資金計画書」

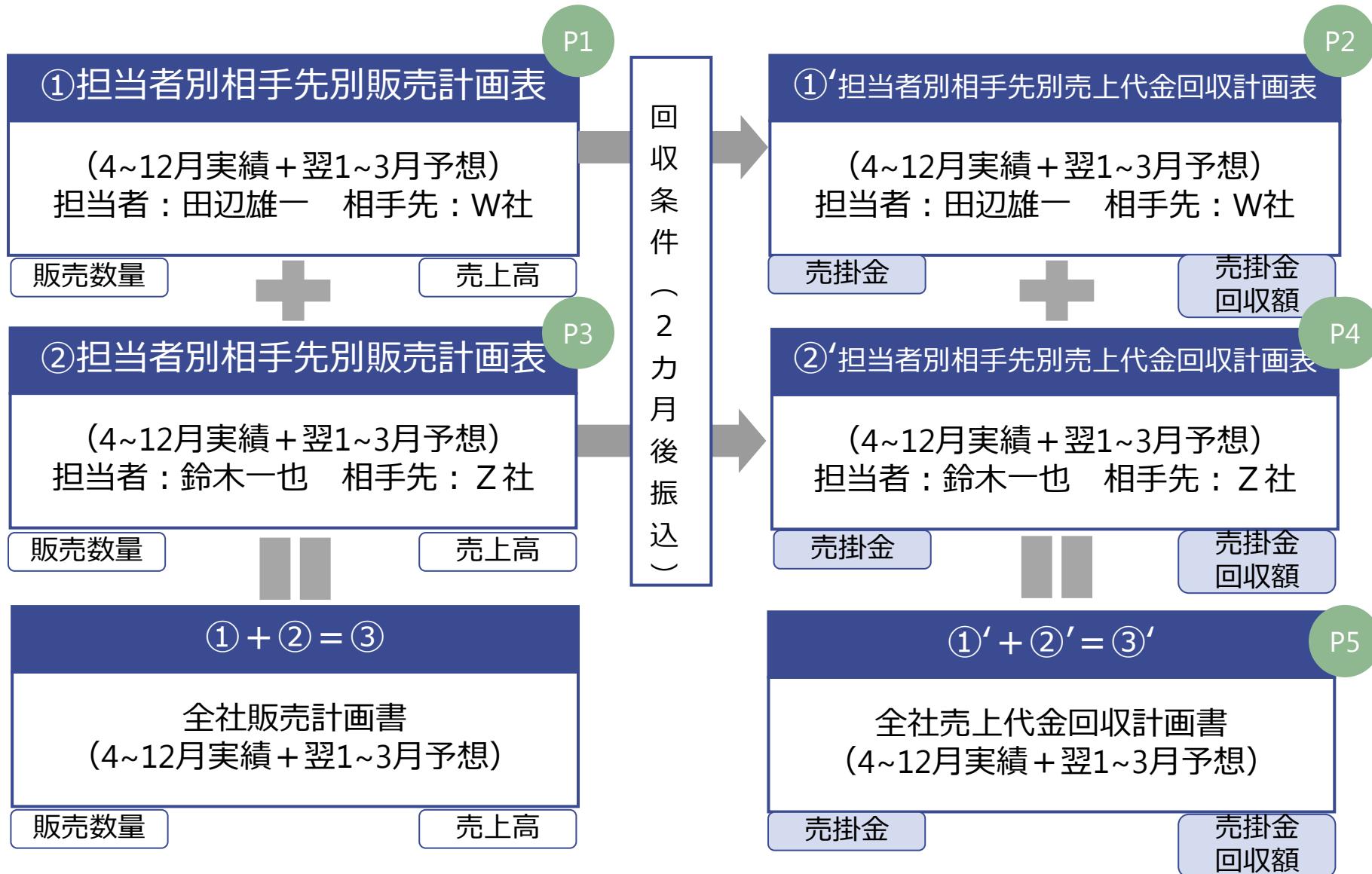
演習の仮設モデル



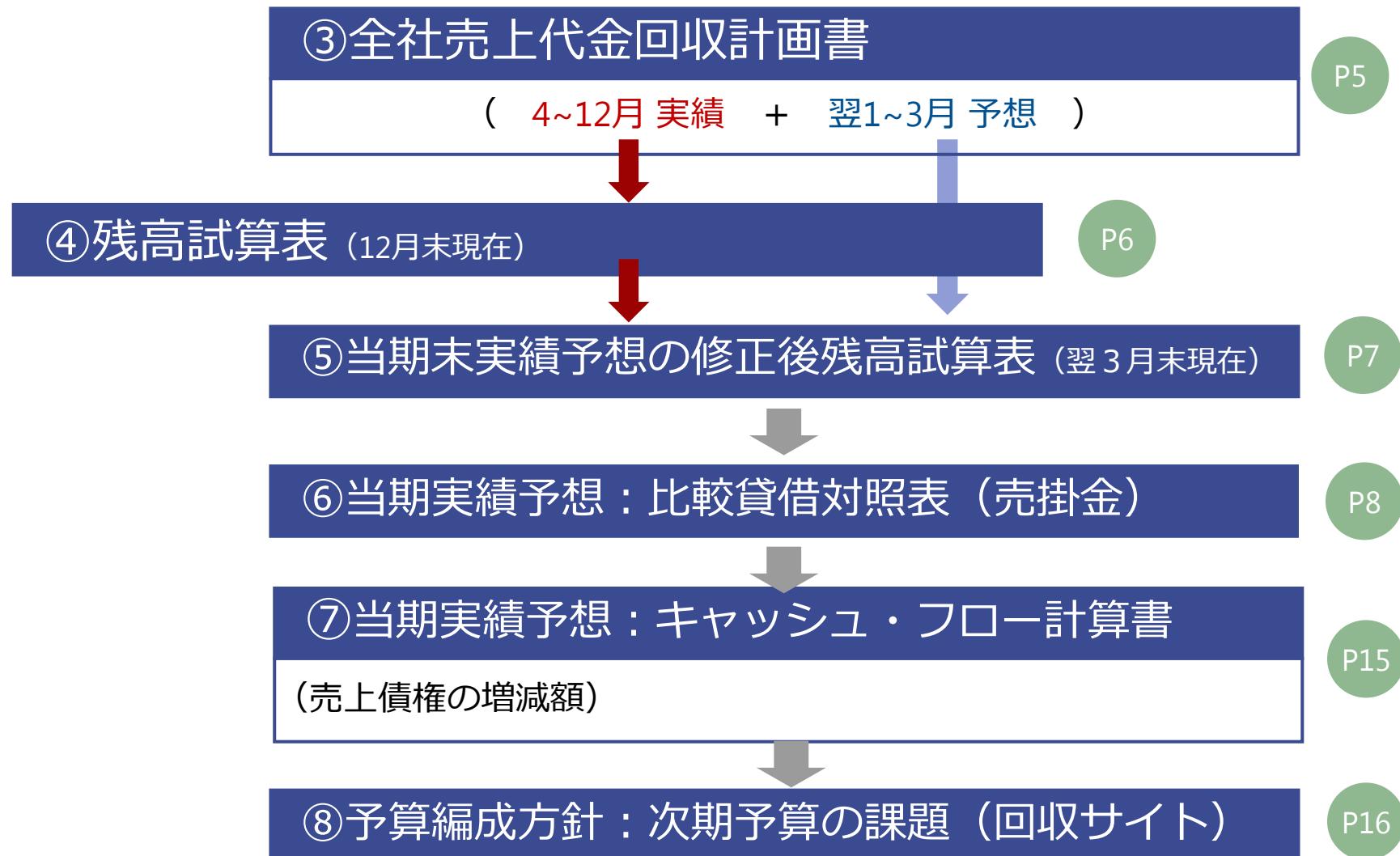
「実績予想：比較貸借対照表＆CF計算書」の作成



実績予想作成フローー1



実績予想作成フローー2



1

演習問題 2

予算編成方針：売掛金実績予想
改訂増補 「予算会計」 P8・P9 参照

1 担当者別相手先別販売計画表（当期実績予想）

①

担当者：田辺雄一

月	売上先	販売数量 (kg)	販売単価 (千円)	売上高 (千円)
4～12月実績	W社	625	@100	62,500
1月（計画）	W社	19	@99	(A1) 1,881
2月（計画）	W社	37	@100	(A2) 3,700
3月（計画）	W社	19	@101	(A3) 1,919
年度実績予想売上高	W社	総計 (A4) 700	$(A5) \div (A4) = (A6)$ @100	総計 (A5) 70,000

P2担当者別相手先別売上代金回収計画表」へ転記

2 担当者別相手先別販売計画表（当期実績予想）

回収条件	2ヶ月後振込入金				当月売掛金回収額
	月	売上高 売上高 × (1 + 消費税率 8 %)	当月発生 売掛金	前月発生 売掛金	
4～1 1月実績		40,000	11月末:10,800	11月末:10,800	累計:21,600
12月実績		22,500	(7) 24,300	10,800	10,800
1月（計画）	(1)	1,881	(10) 2,031	(8) 24,300	(6) 10,800
2月（計画）	(2)	3,700	(13) 3,996	(11) 2,031	(9) 24,300
3月（計画）	(3)	1,919	(15) 2,073	(14) 3,996	(12) 2,031
1～3月計	(4)	7,500	(16) 8,100	-	(17) 37,131
	(5)	70,000	(18) 6,069		(19) 69,531
	● 通期累計		W社売掛金		当年累計

P1 「担当者別販売計画表」より転記

3 担当者別相手先別販売計画表（当期実績予想）

②

担当者：鈴木一也

月	売上先	販売数量 (kg)	販売単価 (千円)	売上高 (千円)
4～12月実績	Z社	230	@ 100	23,000
1月（計画）	Z社	50	@ 100	(7)5,000
2月（計画）	Z社	10	@ 100	(8)1,000
3月（計画）	Z社	10	@ 100	(9)1,000
年度実績予想 売上高	Z社	総計(11) 300	(10)÷(11)=(12) @ 100	総計(10) 30,000

P4 担当者別相手先別売上代金回収計画表へ転記

4 担当者別売上代金回収計画表（当期実績予想）

②

担当者：鈴木一也（Z社向）分

回収条件：2ヵ月後振込入金へ転記

月	売上高 売上高×(1+消費税率8%)	当月発生 売掛金	前月発生 売掛金	当月売掛金 回収額
4～1 1月実績	16,000	11月末:5,400	11月末:4,320	累計:7,560
12月実績	7,000	(26) 7,560	5,400	4,320
1月（計画）	(20) 5,000	(29) 5,400	(27) 7,560	(25) 5,400
2月（計画）	(21) 1,000	(32) 1,080	(30) 5,400	(28) 7,560
3月（計画）	(22) 1,000	(34) 1,080	(33) 1,080	(31) 5,400
1～3月計	(23) 7,000	(35) 7,560	-	(36) 18,360
	(24) 30,000	(37) 2,160		(38) 30,240
●通期累計		Z社売掛金		当年累計

P3「担当者別販売計画表」より転記

5 全社売上代金回収計画書（当期実績予想）の記入

① + ②

田辺+鈴木（W社+Z社）

担当者・相手先別売上代金回収計画表集計

月	売上高	当月発生 売掛金	前月発生 売掛金	当月売掛金 回収額
4～1 1月実績	56,000	11月末:16,200	11月末:15,120	累計:29,160
12月実績	29,500	(42) 31,860	(46) 16,200	15,120
1月（計画）	(39) 6,881	(43) 7,431	(47) 31,860	(50) 16,200
2月（計画）	(40) 4,700	(44) 5,076	(48) 7,431	(51) 31,860
3月（計画）	(41) 2,919	(45) 3,153	(49) 5,076	(52) 7,431
1～3月計	(53) 14,500	(54) 15,660	12月末残高 = (42) + (46)	
P6 予想T/Bへ	(56) 100,000	(57) 8,229	(55) 55,491	
通期累計		売掛金	(59) 48,060	年累計
				(58) 99,771

6 修正後残高試算表の記入

X0年12月31日現在

N O	総勘定科目	貸 借	期首残高 (千円)	借方 (千円)	貸方 (千円)	期末残高 (千円)
略	売掛金	貸	0	略	略	P5(59)→(60) 48,060

P5「全社売上代金回収計画書」の
12月末現在の売掛金残高(59)を記入

注：学習の便宜上、円表示を千円表示に変更しております。以下同じ。

7 当期末実績予想：修正後残高試算表作成

X1年3月31日（決算日）現在の実績予想

NO	総勘定 科目	貸 借	X0.12.31 現在	X1.1.1～3.31 (発生予想)		X1.3.31 現在
			実績 残高 (千円)	借方 (千円)	貸方 (千円)	当期実績予想 期末残高 (千円)
略	売掛金	貸	① P6(60)→(61) 48,060	② P5(54)→(62) 15,660	③ P5(55)→(63) 55,491	$① + ② - ③ = ④$ P5(57)→(64) 8,229

P6 12月末現在の残高試算表より記入

P5 全社売上代金回収
計画書の翌1～3月の
売掛金発生額合計(54)の値を記入

P5 全社売上代金回収
計画書の翌1～3月の
売掛金回収額合計(55)
の値を記入

P8 実績予想：
比較貸借対照表

8 実績予想比較貸借対照表 の作成

NO	総勘定科目	貸借	前期末 (千円) ①	当期末 (千円) ②	増減差額 (千円) ② - ① = ③
			前期 T/B より ↓		
略	売掛金	貸	0	P7(64) → (65) 8,229	(66) 8,229

P7 「当期実績予想：修正後残高試算表」の
翌3月末現在の売掛金残高(64)を記入

P15 実績予想：【間接法】
キャッシュ・フロー計算書

9-1 考察①

キャッシュ・フロー計算書の表示

前期末貸借対照表

変化

当期末貸借対照表

現金及び預金の増減内訳 *1

キャッシュ・フロー計算書 (C/F) *1

比較貸借対照表の増減額は貸借一致

比較B/Sの増減額でC/F作成できる

* 「現金及び現金同等物」には、期限3ヶ月超の定期預金・有価証券は含まれない。

9-2 考察②

キャッシュ・フロー計算書の表示

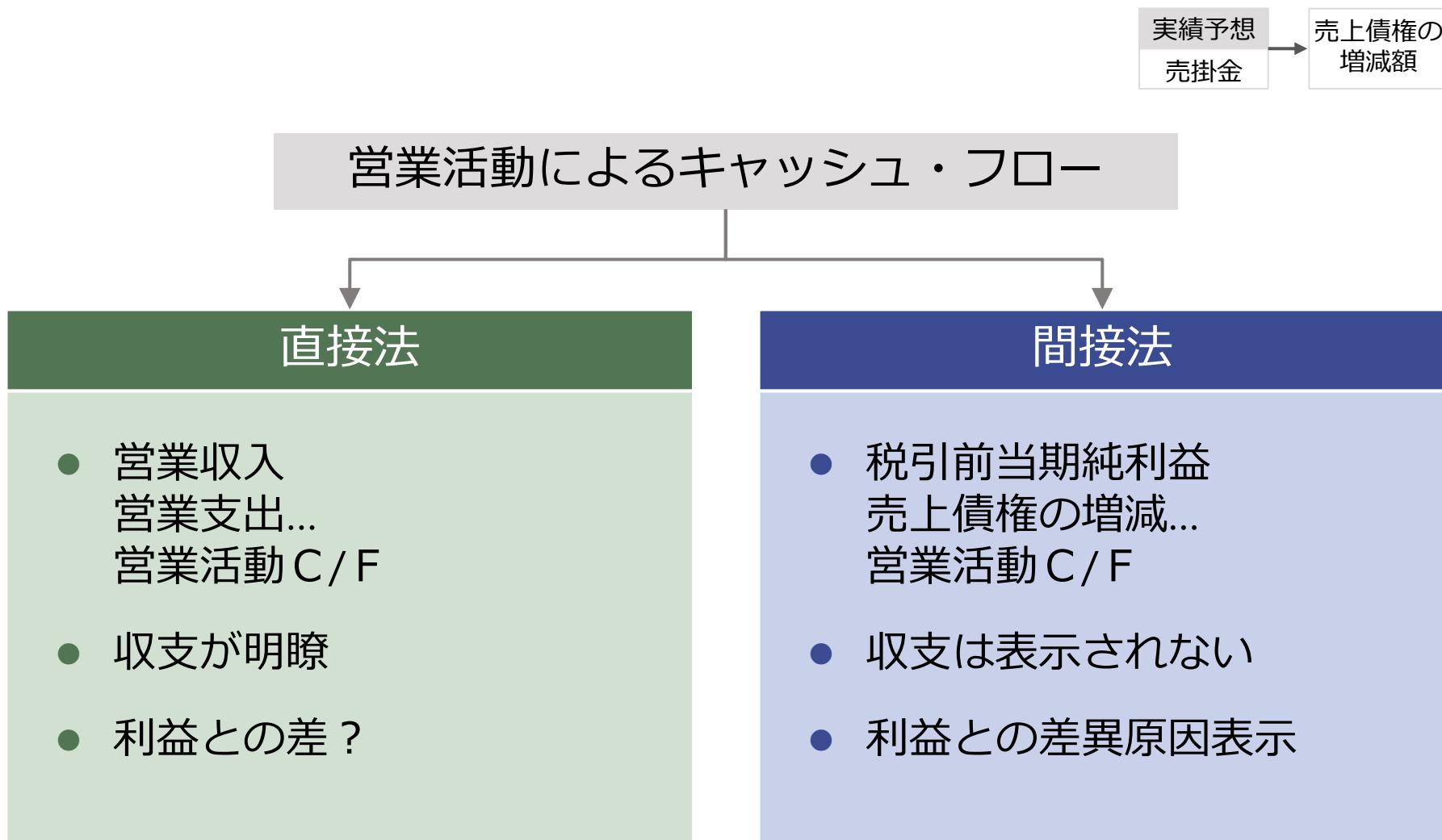
| キャッシュ・フロー計算書

実績予想
売掛金 → 売上債権の
増減額

1	2	3	4	5
営業活動 による C/F	投資活動 による C/F	財務活動 による C/F	現金及び 現金同等物の 換算差額	1 + 2 + 3 + 4

現金及び
現金同等物の
増減額

「直説法」と「間接法」との差異とは？



9-4 考察④

間接法の売上債権の増減額とは？

間接法の場合の符号

実績予想
売掛金

売上債権の
増減額

簡易形式的理解

借方・貸方科目で相手勘定：現金の仕訳

(比較B/S : 売掛金増加
／ (現金)

8,229

8,229

資金支出だから、
に △ を付す。

C/F

売上債権の増減額

9-5 考察⑤

間接法の前提とは？

間接法の場合の符号 △

実績予想
売掛金

売上債権の
増減額

実質的理

税引前当期純利益：資金増から始まる

(現金) 2,045

／ (税引前当期純利益)

2,045)

(現金) 100,000

売上高はすべて

(売上高) 100,000

営業収入

9-6 考察⑥

考察6 間接法の場合の符号とは？



間接法の場合の符号△

前期末売掛金は当期に回収=営業収入



当期末売掛金は未回収=×営業収入



+ 前期末売掛金 - 当期末売掛金



- (当期末売掛金 - 前期末売掛金)



△ 売掛金の増加 → △を付す

10 実績予想：キャッシュ・フロー計算書の作成



当期実績予想キャッシュ・フロー計算書			
No.	科目	金額(千円)	分析・評価
	売上債権の増減額	(67) △8,229	回収期間が長い →回収条件1ヶ月短縮化

P8

「当期実績予想：比較
貸借対照表」
の「売掛金の増減額
 $(66) \times \Delta 1 = \Delta 8,229$ 」
より記入

P16

「次期予算編成方針」
へ反映する。

予算のPDCAサイクル

11 次期予算編成方針の次期予算の課題 【販売方針】 作成



次期予算編成方針	
区分	内容
1 当期実績の概況と課題	・・・ 略 ・・・
2 次期予算の課題 【販売方針】	・・・ 得意先へメリットを与える、次期売掛金の回収条件の <div style="text-align: center;"> (68) 1 ケ月 </div> 短縮化を図り・・・

P15

「当期実績予想：キャッシュ・フロー計算書」より記入